

平成28年12月20日開催

石狩市教育委員会会議（12月定例会）資料

<報告事項>

- ・本町・八幡地区の学校統合に係る保護者・地域説明会について

・・・・P1～P3

- ・平成28年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」について（開催案）

・・・・P4

石 狩 市 教 育 委 員 会

<報告事項①>

本町・八幡地区の学校統合に係る保護者・地域説明会について

(平成 28 年 11 月 24 日 (木) 18:30～ 親船会館にて開催)

資 料

● 前回の保護者・地域説明会 (H28. 1 月下～2 月上) で寄せられた意見要望について

① 子ども達や保護者の不安の軽減について

- ・ 現・八幡小への異動(転校)に伴う子ども達への精神的不安を取り除くための対応
 - ⇒ ・ 統合前に(計画的に)学校間交流の取組を行う。
 - ・ 少しでも多くの石狩小の先生が、統合校で引き続き配属されるよう、道教委等の関係機関への協議要請を行う。

② スクールバスの運行について

- ・ 冬季の悪天候時に、国道 231 号線・石狩河口橋が通行止めになった場合の対応
 - ⇒ ・ これまで同様、事前の情報収集、伝達を的確に行い、道路管理者(開発局)・市役所(市教委・危機管理担当など)・学校との連絡体制の更なる整備、強化を行っていく。
 - ・ 万一、急な天候変化や事故等によって下校・帰宅が困難になった場合に備え、統合校での避難スペースの整備や非常食の配備を行う。
- ・ 効率の良い(乗車時間が長くない)バス運行ができるようにするための対応
 - ⇒ ・ 子ども達の住所に応じた乗降箇所と運行経路を設定し、きめ細かな運行を行う。

③ 放課後児童クラブ(学童保育)について

- ・ 老朽化している「つくしクラブ」の存廃、代替案など
 - ⇒ 【保健福祉部より】
 - ・ 石狩小学校か石狩中学校の敷地内において、既存施設を利活用した整備を行う。

④ 石狩小学校の校舎の後利用について

- ・ 歴史建造物として価値のある円形校舎の活用の検討
 - ⇒ ・ 「石狩発祥の地・本町地区のシンボル」「石狩市の歴史を語るレガシー」として、解体は行わず、まちの歴史文化を後世に引継ぎ伝える歴史館的な施設として活用する方向で検討する。(※統廃合が決定した際には、利活用に係る検討会を設置し、具体化する。)

⑤ その他

- ・石狩小が閉校することに伴う市民サービス低下などの不安

⇒ ・地域から学校が無くなることで、例えば冬季間の道路の除排雪が行き届かなくなるといった、市民サービスの低下を招くことは決して無いことを約束する。

- ・統合校の校名には、「石狩」の名を残してほしい。

⇒ ・統廃合が決定した場合、両校の児童の保護者や地域の方々、教職員等を構成員とする「学校設立準備委員会」を立ち上げ、統合校の新たな学校づくりに向けて、より具体的な検討を行う中で、校名や校章等について決めることとなる。

- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について

⇒ ・保護者や地域住民、学校長等が構成員（委員）となる「学校運営協議会」を組織、設置している学校をいい、現在、政府が掲げる地方創生につながる教育施策として全国各地で導入されている。（H28年4月時点で、公立の小・中・義務教育学校では全国2,661校、道内で64校、石狩管内では北広島市で2校が指定導入）

- ・各委員は、「学校長が定める学校運営方針を承認する」、「学校運営について学校長や教育委員会に対し意見を述べることができる」、「教職員の任用について教育委員会に対し意見を述べることができる」の主に3つの機能（権限）を有する。

- ・学校運営協議会は、学校の良きパートナーとして、学校長が描く学校のビジョンを地域住民や保護者と共有し、学校長のリーダーシップのもとに共に汗をかき、そのビジョンの実現を目指そうとするための仕組みである。

（上記は、文部科学省パンフレット「コミュニティ・スクール2016」を参考文献として記述。）

⇒ ・学校設立準備委員会での検討を通して、統合校をコミュニティ・スクールとして指定導入するよう執り進める。

● 厚田区の学校整備（学校統廃合）の具体策の決定について（※H28.6.30 教育委員会会議）

- ・平成32年度に統合新設校（義務教育学校）を開校する。（位置は現・厚田中）

- ・平成32年3月末をもって聚富小中は閉校する。

→ 閉校後は住所が「厚田区虹が原」の児童生徒の通学区域（校区）は現・八幡小となる。（※トーメン団地の校区が一つになる。）

本町・八幡地区の計画（案）

石狩小学校 と 八幡小学校 を
“ 統合して、新たな学校をスタート ”

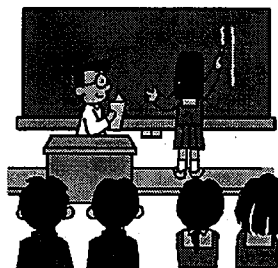
- ① 施設 既存の校舎を活用し、必要に応じた改修を行う。
- ② 位置 現在の 八幡小学校 とする。
- ③ 時期 3～5年の期間を目途に整備する。

～ 開校まで4年間 ～

- 1年目 地域、保護者等から意見を集約 ⇒ 統廃合を決定
- 2年目 新たな学校づくりの検討開始（設立準備委員会の立ち上げ）
基本コンセプトの検討（ベース設計）
- 3年目 実施設計
- 4年目 改修工事着工
- 5年目 （仮称）石狩・八幡小学校開校

④ 統合校の特徴

- ・ “石狩を代表する伝統校”としての特色ある学校づくり
- ・ ふるさと学習 ・ 太鼓などの伝統芸能を継承
- ・ 放課後児童の環境整備
- ・ 図書館機能の充実
- ・ コミュニティ・スクール



⑤ 通学手段など

- ・ 現在の石狩小学校の児童は、スクールバスで通学する。

<報告事項②>

平成28年度石狩市教職員研修「ウインターセミナー」について（開催案）

1. 目的

市の教育目標の達成及び現代的教育課題を解決するため、専門的知識や実践的指導力など、教職員に求められる資質の向上を図る。

2. 主催

石狩市教育委員会

3. 日時

平成28年12月26日（月）13:30～15:30（受付 13:00～）

4. 会場

石狩市役所4階 401・402会議室

5. 対象

教職経験8年以下の市内小中学校全教諭（期限付き教諭を含む）
（ただし、養護教諭、栄養教諭、事務職員は除く）

6. 受講方法

学校で参加者を取りまとめ、12月12日（月）までにメールで別紙にて濱本参事に提出願います。

7. 内容

テーマ 『外国語・英語教育を通して若手教師に伝えたいこと
～日本人学校、アメリカ派遣の体験を通じて』

講師 宮浦 匡典 教諭（南線小学校教諭）
加藤 孝章 教諭（花川南中学校教諭）

形式 提言及びグループ討議
・中堅教諭から若手教師に向けた提言を聞く。
・小グループで、学校現場での悩み等について交流する。

13:00 13:30 13:35

14:15

14:55

15:00

15:15

15:27 15:30

受付	開 会 式	テーマ『外国語・英語教育を通して若手教師に伝えたいこと ～日本人学校、アメリカ派遣の体験を通じて』			グ ル ー プ 討 議	ま と め	閉 会 式
		提言1 「海外派遣で感じたこと～ イスタンブールとネパール での経験を通して」 講師：宮浦 匡典 教諭 （南線小学校）	提言2 「アメリカ派遣を通し て伝えたいこと」 講師：加藤 孝章 教諭 （花川南中学校）	質 疑 応 答			
	5分	40分	40分	5分	15分	12分	3分

8. 事後アンケートの提出について

参加者は別紙様式により、ウインターセミナー終了後に事後アンケートを提出願います。

